

第26期・第1回

環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会 議事要旨

日時：令和6年3月11日（月）10：00～12：00

会場：オンライン会議

出席者：大塚 直、森山 美知子、浅見 真理、石塚 真由美、上田 佳代、小熊 久美子、鹿嶋 小緒里、中村 桂子、野原 恵子、橋爪 真弘、渡辺 知保

欠席者：秋葉 澄伯、小野 恭子

オブザーバー参加：藤井 健吉、茶山 一彰

議題等

（1）委員長、副委員長、幹事の決定について

審議の結果、以下のとおり決定した。

委員長：中村桂子

副委員長：浅見真理

幹事：小熊久美子、橋爪真弘

（2）第26期分科会等活動に関する確認について

・委員会参加と定足数の算出方法について確認を行った。

（3）第26期活動方針の検討・意見交換について

・資料（提案書）にもとづき説明された。委員会設置期間はR5/12/22-R8/9/30である。

・主な活動内容は以下の3論点とする

「リスク教育の専門家の育成」

「プラスチックのガバナンス」

「プラネタリーヘルス」

・その他として、「化学物質への複合曝露、複合影響」、「リスクとは何か」、「リスクのとらえ方」等について情報共有の必要性が指摘された。

・「国際社会との協力」について、国内の学会にとどまらない連携、海外の研究者による講演など、国際連携と国際的な情報発信の意であることが説明された。国際協力の観点ではFuture Earth 分科会との親和性を重視したいとの意見があった。

・高齢社会や医学系の分科会、リスク社会と法の分科会等との連携、行政や教育現場などでも引用してもらえるような資料、学術分野だけでなく市民行政民間を含めて意見交換する場、民間におけるリスク評価、管理方法の知見の共有の機会を設ける方向で合意した。

(4) 議事要旨の委員長一任について

議事要旨の最終案は委員長に一任することで承認された。

(5) 分科会委員間のメールアドレス共有について

承認された。

(6) その他

・新委員の参加について、小椋康光先生（千葉大学）、近藤智恵子先生（長崎大学）、藤井健吉先生（花王株式会社）、茶山一彰先生（広島大学）、の4名の本分科会への参加が承認された。

・今後のシンポジウム開催や分科会にお招きしてお話を伺いたい方など、具体的な提案を募集したい。第二回は5～6月頃を目途とする。